

三原市手をつなぐ育成会活動再開への道のり

広島県手をつなぐ育成会副会長・三原市手をつなぐ育成会会長 岡田雄幸

三原市手をつなぐ育成会は、昭和33年（1958年）12月12日に三原市手をつなぐ親の会として発足し、

昭和37年（1962年）に三原市精神薄弱児（者）育成会に、その後は現在の名称で活動してきました。昭和53年（1978年）第4回広島県精神薄弱者福祉大会を開催し、平成2年（1990年）第16回広島県精神薄弱者福祉大会、平成12年（2000年）第26回広島県知的障害者福祉大会、平成22年（2010年）第36回広島県知的障害者福祉大会・第9回はつらつ大会と県大会を三原で開催した実績も残っています。

会結成当時は総勢70～80人の会員を有し教員OBの方々の協力もあり、結束強く活発に活動が行われていたとも聞いています。平成20年中ごろから会員の減少と高齢化も相まって活動が徐々に途絶えはじめ、私が会長に就任した平成27年ごろには休止状態に陥ってしまいました。そうした会の衰退を案じて会員はもとより県育成会関係者からも「三原の育成会を何とかして活動再開できないだろう

にわたって空白の期間が続きました。そんな中で令和2年に活動再開に向けた動きが会員内外から芽生えてきました。6名の有志が集まって新たな役員の選任並びに会則の改定など

について協議が行われ、活動再開に向けた機運が生まれたのです。ただ、最大の課題は互助制度の問題です。これまで共済制度の掛け金納入や保険金申請などの事務的作業は継続されていましたが、誰がやるにしても大きな負担になることから、簡単に解決できることではありませんでした。こう

いと平成17年（2005年）にNPO法人の資格を取得して事業展開も行つてきました。当初はボランティア活動として地域の駅の清掃、公園の除草等を行つてきましたが、もちろんの事情で今は休止しています。

本人たちのダンスも月1回練習し、機会がある時に披露していくままで発表している姿は見ている者にも喜びを与えます。いつか、あいサポートふれあいコンサートで発表できると良いかなと思っています。

そして令和4年7月18日、県育成会金子会長ほか事務局員の方々をお迎えして令和4年度第1回三原市手

活動計画及び予算についての議案が、会則の改定、役員の選任、活動計画及び予算についての議案が、会員を増やし、三原市手をつなぐ育成会を盛り上げていければと思つておりますので関係各位におかれましては引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

承認され活動再開に至っています。この10月には、会員はもとより特別支援学校に通う親御さんなどにも呼びかけ研修会を開催します。こうして地道な活動を行いながら少しずつ

神辺育成会と地域のつながり

広島県手をつなぐ育成会副会長・神辺育成会理事長 濑良京子

神辺育成会は、障がいのある本人や家族が地域生活の中であたりまえに暮らすことを目的に、任意団体として平成6年（1994年）に発足しました。さらに活動の輪を広げたいと平成17年（2005年）にNPO法人の資格を取得して事業展開も行つてきました。

当初はボランティア活動として地域の駅の清掃、公園の除草等を行つてきましたが、もちろんの事情で今は休止しています。

本人たちのダンスも月1回練習し、機会がある時に披露していくまで発表している姿は見ている者にも喜びを与えます。いつか、あいサポートふれあいコンサートで発表できると良いかなと思っています。

地域の福祉事業所との連携も進めています。年に一度事業所説明会を開催しています。学校と卒業する生徒・親に将来の選択肢としての情報の提供をしています。

このような活動も福山手をつなぐ育成会と協力して行っています。この福山地域が、障がいのある人もない人も共に暮らしやすい地域になること願つて親たちは微々たる活動をしています。

会員を増やし、三原市手をつなぐ育成会を盛り上げていればと思つておりますので関係各位におかれましては引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

育成会と共に歩む事業所協議会として

広島県手をつなぐ育成会副会長
広島県障害者福祉事業所協議会代表 春木 強

第10回手をつなぐ育成会中国・四国大会（広島大会）開催まで1か月を切りましたが、県内の事業所ではコロナ感染症対策に追われる慌ただしい日々が続いています。

広島県障害者福祉事業所協議会（以下、事業所協議会）においては、この数年来、開催することのできなかつた総会および研修会を7月に開催することができました。参加事業所は3事業所でしたが、加盟16事業所に引き続き呼びかけを行い結束していくことを再確認するとともに、これから課題として事業所協議会へ参加することへのメリットについて話し合っていかなければなりません。無認可時代には、110万円の国庫補助金の受付窓口という明確なメリットがありましたが、事業所それが法人格を取得した現在、「事業所協議会に参加する価値があるのか?」「どのようにして魅力ある事業所協議会にしていくか?」などの課題に取り組んでいく必要があります。総会後の元山淳先生の強度行動障害支援者研修会では、未加盟事業所関係者（リモート参加を含む）を合わせると約30名もの参加者がありました。魅力ある研修には必ず人は集まります。継続して魅力ある協議会・研修会を開催していきます。

また本年4月には、無認可の小規模作業所時代から今日に至るまで事業所協議会を導かれた前代表三上正浩氏がご逝去されました。ご生前のご功績を偲び、謹んでお悔やみ申し上げます。三上氏の意志を引き継ぎ、事業所協議会を発展させていかなければならぬとの思いを強くしています。

来年度より、全国手をつなぐ事業所協議会は、一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会の正会員となります。広島県としては現状を踏まえて今後の動向については金子会長の下、三役会・事業所協議会で慎重に協議していく必要があります。育成会にとつて日中活動のある事業所がより身近で必要とされるよう、これからも皆様と共に歩んでいきますので、温かいご指導を賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

互助制度（旧付添看護料共済）

<http://pref-h-ikuseikai.or.jp>

広島県手をつなぐ育成会

この共済は3つの給付制度があります

- ①入院保険 病気やケガで入院したときの補償
- ②傷害保険 本人の傷害（ケガ）の補償
- ③他人への損害賠償金 他人への損害賠償

プランは2つあります Aプラン（12,000円），Bプラン（18,000円）／年間
補償内容（Bプランの場合） 年間掛金 18,000円

入院保険	・付添看護保険料	1日に付き	5,000～8,000円
	・差額ベッド費用	1日に付き	3,000円までの実費
	・入院諸費用	1日に付き	1,000円
	・入院一時金	1入院に付き	5,000円
傷害保険	・ケガによる入院	1日に付き	3,000円（180日限度）
	・ケガによる手術		15,000・30,000円
	・ケガによる通院	1日に付き	1,000円（90日限度）
	・ケガによる後遺障害		8万～200万円
	・ケガによる死亡		200万円
	・対人・対物	1事故	5,000万円 限度（自己負担なし）

詳しい資料のご請求、お問い合わせは下記までどうぞ。

《共済事務局》 一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会
電話 082-537-1773 FAX 082-537-1778

《保険委託引受け会社》 AIG保険会社 広島支店
担当 ジェイアイシーウエスト広島株式会社
電話 082-511-7025 FAX 082-511-7026

お気軽にお電話ください。

福祉サービスの『困った～！？』を相談できます！

広島県手つなぐ育成会副会長・福祉サービス運営適正化委員会委員 柏田 潤子

「広島県福祉サービス運営適正化委員会」は、皆さんあまり馴染みのない名称だと思います。ですが、実はこの委員会は、福祉サービスに関する利用者等からの苦情を適切に解決することにより、福祉サービスを利用する利用者の利益を守る、頼りになる機関なのです。例えば、「社会福祉施設・事業所には直接言いにくい」、「他にどこに相談すればよいのかわからない」等、福祉サービスの利用の際にお困りのことがある場合には、こちらの委員会にご相談ください。

福祉サービスを利用する人から利用にあたって疑問や不満を感じたり、要望や苦情等があつたりする場合に、解決に向けた相談や助言、必要に応じて調査等を行います。秘密は厳守しますので安心してください。（匿名の相談もお受けします）相談は無料です。相談先の一つとして、ぜひご活用ください。

また、この委員会は、広島県内各市町の社会福祉協議会に設置されている障害福祉サービス利用援助事業「かけはし」（注1）の適正な運営が確保されているかを精査するため現地に実地調査に赴き、必要な助言等も行います。知的障害の我が子も、そして近頃めっきり記憶が薄くなつたと不安になっている親御さんたちも、皆さんがいきいきと安心して暮らせるようサポートします。

（注1）「かけはし」は認知症等の高齢者、児童、知的障害者、精神障害者等の判断能力が不十分な方の福祉サービスや金銭管理を支援する事業。

ご相談・お問い合わせ先 広島県福祉サービス運営適正化委員会

●電話 082-254-3419 ●FAX 082-569-6161

FAX、郵便、電子メール等でもご相談いただけます。中立・公正な立場を守るために、広島県社会福祉協議会事務局とは別組織であり、独立して設置・運営されています。

第三者委員とは

利用している福祉サービスに対する要望や苦情がある場合には、まず事業所に直接伝え改善されることが望まれますが、直接言いづらい場合には、第三者委員への相談も活用できます。

利用している事業所の第三者委員についてでは、契約書や契約時に事業所から渡される重要事項説明書に記載されています。

第三者委員は、公正・中立的な立場から、利用者がより良い福祉サービスを受けられるよう対応します。

利用者やその家族から事業所への苦情や要望を聞き、利用者等と事業者との話し合いに立ち会つたり、双方に必要な助言をしたりするなど、解決に向けた調整役となります。

なお、第三者委員に相談しても解決しない場合には、広島県福祉サービス運営適正化委員会へ相談することもできます。

広島県福祉サービス運営適正化委員会とは

広島県福祉サービス運営適正化委員会は、社会福祉法第83条に基づき広島県社会福祉協議会に設置された福祉サービスに関する利用者等からの苦情を適切に解決するための機関です。

社会福祉に関する学識経験者（社会福祉士、民生委員・児童委員、介護福祉士等）、法律に関する学識経験者（弁護士）、医療学識経験者（医師、精神保健福祉士等）の専門家などで構成され、中立・公正な立場で苦情が適切に解決できるよう努めます。

委員会の機能・役割

- 苦情相談者への助言
- 事業者（施設）への事実確認・調査・助言・申し入れ
- 当事者間の話し合いの調整
- 他の専門機関の紹介・伝達・報告

※介護保険の対象となる福祉サービスに関する苦情相談は、広島県国民健康保険団体連合会（国保連）でも受け付けています。

- 虐待や法令違反が疑われる場合の県知事等への通知

※虐待や法令違反など明らかに改善を要する重大な不当行為と判断される場合には、広島県知事等に対し速やかに通知します。

利用しているサービスについて苦情や要望があったら、まずは事業所職員に相談してみましょう。



福祉サービスの利用は、**利用者**と**事業者（施設・事業所）**が契約することにより成り立っています。
利用者が事業者に思いを言いづらい状況は、**対等な立場**にあるとは言えません。

そんなときこそ

第三者委員へお話し下さい！

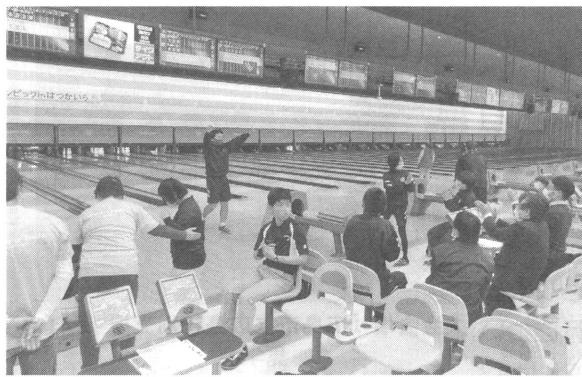
第三者委員は、地域の民生委員や施設を知っている関係者が担うことが多いです。



広島県福祉サービス運営適正化委員会パンフレットより
(パンフレットが必要な方は県育成会事務局までご連絡ください)

「スポーツ参加と観戦と」

広島県手をつなぐ育成会 常務理事 中尾秀行



昨年度の大会「ボウリングピックinはつかいち」
少ない参加者でも盛り上がりいました



5月21日 みよし運動公園 対日本大SMG横浜戦
初めてのサッカー観戦に大興奮



9月11日 東広島運動公園
対朝日インテック・ラブリッジ名古屋戦
最後の試合を一生懸命応援しました



5月15日 尾道びんご運動公園
広島県障害者陸上競技大会 元気に「選手宣誓！」

「2020東京パラリンピック」から2年が経ちましたが、選手の皆さんの活躍する姿を聴しながら感動したことはつい先日のように思い出されます。再び感動を味わわせていただいたのが、今年5月15日に尾道びんご運動公園内にあります陸上競技場で開催された「令和四年度広島県障害者陸上競技大会」です。コロナ禍のため3年ぶりの大会でした。県内から約170人の選手の皆さん、15種目に出場され日頃の練習の成果を精一杯発揮されました。広島県手をつなぐ育成会は、この大会を共催しています。本会の金子会長は、大会実行委員長を務められました。この大会で優秀な成績を挙げ

られた選手の皆さん、10月29日から開催される第20回全国障害者スポーツ大会とちぎ大会に出席されます。また、今年5月15日に尾道びんご運動公園内にあります陸上競技場で開催された「令和四年度広島県手をつなぐ育成会の企画するスポーツ観戦が、女子サッカーなでしこリーグ「アンジュヴィオレ広島」の応援です。本年度は、二回実施いたしました。一回目は、5月21日（土）三次市みよし運動公園陸上競技場で、対「日体大SMG横浜」戦でした。一般社団法人生命保険協会広島県協会様より障害者支援の取組として、試合観戦に招待していた 것입니다。試合は、残念ながら「1対0」で負けましたが、「初めてサッカーの試合を見に来ることが

でき、とても楽しかった。」などの方々を聞かせていただきました。二回は、9月11日（日）に東広島運動公園陸上競技場での観戦でした。朝日インテック・ラブリッジ名古屋戦、「1対0」から逆転を目指して攻撃しますが、終了まぢかに一点入れられ、「2対0」。アンジュヴィオレ広島は、今年度限りで解散すること、とても残念でした。観戦された皆さんから、「来てよかったです。」「最後まで頑張る姿に元気をもらつた。」などの感想をいただきました。

スポーツ参加の紹介をします。令和4年12月3日（土）、「ボウリングピックinふくやま」を開催します。アスリートの方、初心者の方も福山市に集まってボウリングを楽しみましょう。詳しいことが決まり次第、会員の皆様にお知らせします。スポーツを見る、スポーツをやってみる

ことで、人とのコミュニケーションを豊かな生活になることを願っています。また、今年11月4日（金）から6日（日）までの3日間、広島市を中心に広島県内において、2022年第8回スペシャルオリンピック夏季ナショナルゲーム・広島が開催されます。12種目に日本中から知的障害のあるアスリートが集まります。広島県立総合体育館グリーンアリーナでの開会式には、ぜひとも参加していただければと思います。各競技では、たくさんの感動シーンに出会うことでしよう。私もボランティアで参加します。広島に集われるアスリートの皆様を心から歓迎し、笑顔でおもてなしをしたいと思っています。楽しみです。皆様の応援をよろしくお願いします。

頑張ってます！「はつらつ友の会」

広島県手をつなぐ育成会本人委員会「はつらつ友の会」は、10月に行われる第10回手をつなぐ育成会中国・四国大会「すまいる大会」（本人大会）（広島大会）に向けて、毎月1回の委員会や、すまいる大会実行委員会を行い、準備を頑張っています。

すまいる大会の実行委員会では、中国・四国各県の代表者とリモート会議で、大会のスローガンや決議文を決めたり、運営や進行について話し合ったりしています。現在、会場には約120人、リモートは13か所の申し込みがあり、交流できることを楽しみにしています。

コロナ禍で、遠くの仲間と直接会って話すことは難しいですが、最近はリモートでつながることができるので、気軽に集まることができますようになりました。

今年の全国大会は福井県で行われますが、本人大会はリモートのみで、2回行されます。1回目は9月19日に開催されました。広島県から多くの仲間が参加する予定でしたが、台風14号の影響で、残念ながら、全員参加中止となりました。2回目は10月9日に予定されています。全国の皆さんと話ができるのが楽しみです。

また、1月には「本人による本人のための相談会＆交流会」も開催する予定です。コロナの感染拡大で中止にならないことを願っています。



大会会場「広島市立広島特別支援学校」見学会



リモートでの実行委員会の様子

広島県手をつなぐ育成会「互助制度」 (保険制度) からのお知らせ

互助制度では、新型コロナに関する特例を設けています。

互助制度のBプランに加入されている方で、新型コロナウイルスに感染し自宅療養（グループホーム、施設入所等含む）された方は、互助制度の給付金の対象者になります（入院一時金5,000円と入院諸費用1日につき1,000円）。

過去に感染された方で、請求がお済みでない方も請求できます。

詳しくは、各支部の互助制度担当者、または、広島県手をつなぐ育成会互助制度担当者まで、お気軽にお問合せください。



広島県手をつなぐ育成会事務局
082-537-1773

(一社) 全国手をつなぐ育成会連合会

第13回権利擁護セミナー (in石川)

『あなたも私も、望む暮らしを続けたい
～地域生活支援拠点って何ですか？～』

開催日：令和4年11月1日

【プログラム（予定）】

- 1 行政説明 『地域生活支援拠点等事業について』
松崎 貴之 氏
(厚生労働省障害福祉課 虐待防止専門官・
障害福祉専門官)
- 2 シンポジウム
『拠点の機能、あれこれ～地域で暮らすことの課題
とその解決に向けて～』
 - ①水流 源彦 氏
(社会福祉法人ゆうかり理事長)
 - ②寺西 里恵 氏
(金沢市基幹相談支援センター相談支援専門員
拠点コーディネーター)
 - ③町田 江美 氏
(栃木市保健福祉部 障がい福祉課係長)
コーディネーター 田中 正博
(全育連専務理事)

広島県手をつなぐ育成会では、このDVDを購入し、貸出を行います。ご希望の方は広島県手をつなぐ育成会事務局までお問い合わせください。